

2025年3月期 第1四半期 決算説明資料

ジオマテック株式会社
create coating solutions

2024年 8月8日

第1四半期業績

単位：百万円

	2024.6	2023.6	前年同期比		2024.3	前四半期比	
	(1Q-FY25)	(1Q-FY24)	増減	増減率	(4Q-FY24)	増減	増減率
売上高	1,195	1,090	105	9.6%	1,184	11	0.9%
営業利益	7	△ 173	180	—	△ 183	190	—
(営業利益率)	0.6%	△ 15.9%	—	—	△ 15.5%	—	—
経常利益	34	△ 141	175	—	△ 152	186	—
四半期純利益	43	△ 167	210	—	△ 1,236	1,279	—
1株あたり 四半期純利益(円)	5.50	△ 21.18	26.68	—	△ 156.37	161.87	—
加工高	1,024	956	68	7.1%	977	47	4.8%

※加工高とは、売上高から基板材料費と外注加工費を差し引いた、成膜分の売上（付加価値収入）のことです。
尚、加工高は、当社の管理数値として使用しているもので会計数字とは必ずしも一致しません。

財務概要

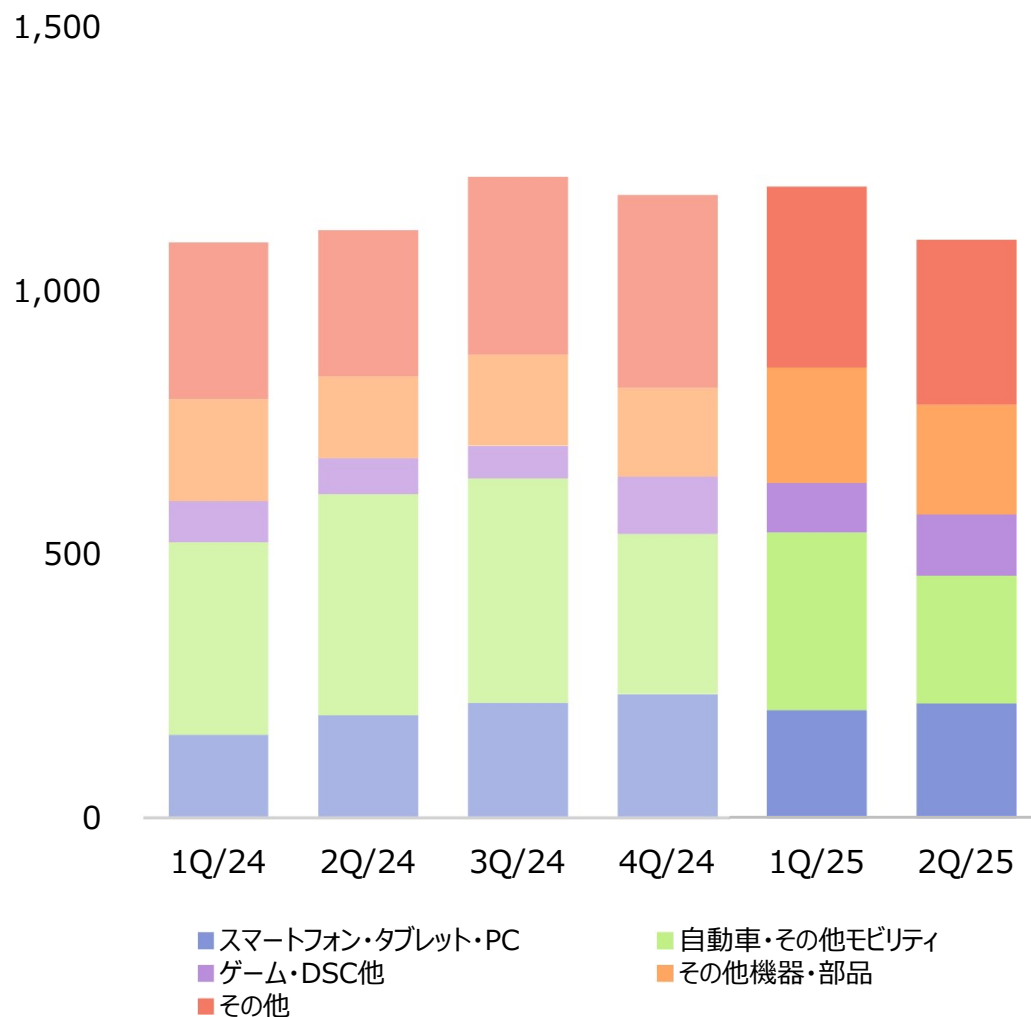
単位：百万円		2024.6	2024.3	増減
流動資産		11,081	10,587	494
現金・預金		3,711	3,691	20
受取手形・売掛金		4,439	3,981	458
電子記録債権		451	560	△ 109
棚卸資産		2,368	2,173	195
その他		110	179	△ 69
固定資産		4,696	4,597	99
有形固定資産		1,987	2,069	△ 82
無形固定資産		149	151	△ 2
投資その他		2,559	2,376	183
合計		15,778	15,184	594

単位：百万円		2024.6	2024.3	増減
負債		7,073	6,531	542
支払手形・買掛金		4,182	3,612	570
借入金等		2,057	2,161	△ 104
その他		834	758	76
純資産		8,705	8,652	53
株主資本		8,340	8,296	44
評価・換算差額等		365	355	10
合計		15,778	15,184	594

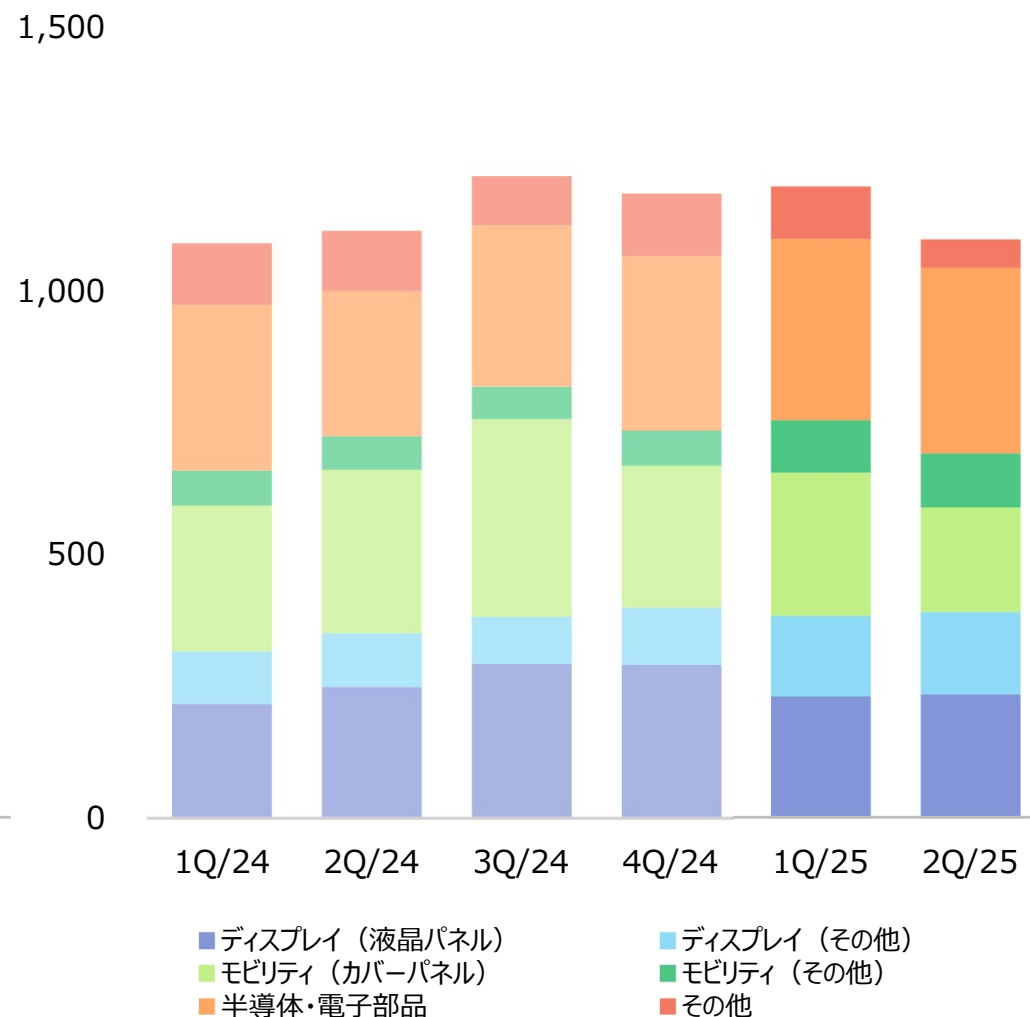
自己資本比率	55.2%	57.0%	△1.8pt
1株あたり純資産(円)	1,100.52	1,093.84	6.68

四半期売上実績

百万円 最終製品別売上高推移



百万円 品目別売上高推移



2025年3月期 業績見通し

2024年5月15日に公表いたしました2025年3月期の第2四半期累計期間の業績予想について、最近の業績動向を踏まえ、下記のとおり修正いたしましたのでお知らせいたします。

単位：百万円	2025.3					2024.3
	通期計画	H 1 計画	H 2 計画	前期比		実績
				増減額	増減率	
売上高	5,200	2,290	2,910	595	12.9%	4,605
営業利益	20	10	10	675	-	▲ 655
営業利益率	0.4%	0.4%	0.3%	-	-	▲14.2%
経常利益	60	40	20	612	-	▲ 552
当期純利益(円)	49	45	4	1,718	-	▲ 1,669
加工高	3,900	1,920	1,980	32	0.8%	3,868
研究開発費	300	-	-	14	4.9%	286
設備投資額	1,000	-	-	61	6.5%	939
減価償却費	164	-	-	▲ 179	▲52.2%	343

経営環境

当社を取り巻く経営環境は、世界的な半導体供給不足は徐々に緩和され受注環境に回復の動きはみられるものの、ウクライナ・中東情勢の深刻化による地政学リスクの高止まり、中国の景気回復遅れによるサプライチェーンの変化、円安の継続による資源価格高騰など先行きは依然として不透明な状況であり、生産活動への影響が懸念されます。

また、当社主力製品の一つである液晶パネル関連製品においては、スマートフォンやその他モバイル製品向け液晶パネルの需要低迷に伴い、部品メーカーでの生産拠点集約により受注量が減少するなど、当社を取り巻く経営環境は厳しい状況で推移しております。

対処すべき課題

このような経営環境の下、当社が認識している課題と対応策は、次のとおりであります。

1. 既存事業の強化

ディスプレイ、モビリティ、半導体・電子部品関連の3重点品目について、細分化して策定した商材戦略の着実な実行により、需要の発掘及び創造と競争力・収益力の強化を、能動的に進めております。

2. 新規分野の開拓

新規分野で伸ばすコア技術を創出する取り組みと共に、従来の部分加工受託で培った製造技術やノウハウに設備設計といったソリューションとしての価値提供による新たなビジネスモデルの拡張も進めております。

3. リソースの整備

製品化や品質管理のプロセス、更には個々人の業務分析から最適配置まで、全社生産性のワンランク向上の視点にて見直しを進めております。

4. 企業風土の改革

全社ベクトルを合せて上述の対策効果を最大化し経営体質を強化するために、現場での意識改革と同時に、全社員が生き活きと働ける環境を整えるべくマネジメント強化も併せた企業風土改革の取り組みを、継続して進めております。

・ 情報提供の目的

当サイトの目的は、当社への理解を深めていただくことを目的としており、投資勧誘を目的としたものではありません。掲載されている情報は、インターネット上で簡便にご参照いただくために作成されたものです。当社は細心の注意を払っておりますが、掲載されている情報には不測の誤りがある可能性があります。当サイトのご利用により、被害・損害が発生したとしても、当社は一切責任を負うものでないことをあらかじめご了承ください。

・ 将来予測に関する考え方

当サイトに掲載されている情報には、当社の計画、予測など将来の見通しに関する記述が含まれています。これらは、現時点で入手可能な情報から得られた当社の判断および仮定に基づくものであり、既知または未知のリスク、不確実性及びその他の要因が内在しています。それらの影響により、当社の業績、事業活動、財務状況は、見通しと大きく異なる場合があります。

・ 投資判断に対する考え方

投資に関する最終的なご決定は、当サイトの情報に全面的に依存することはお控え頂き、ご自身の判断と責任において行われますようお願いいたします。

・ 情報内容変更等の可能性

当サイトまたは当サイト上のコンテンツは、予告なく変更、修正、削除、中断することがあります。当社は、サイトに掲載された情報を更新する義務を負うものではなく、その約束をするものではありません。当サイトのいかなる情報についても、常に最新情報に反映されるものでないことをご了承ください。